

# おとなと子どものためのサイエンスカフェ

時間：各回 18:30~20:00(終了予定)

場所：香彩珈琲「みな実」三日町店

入場無料：ただし、受付後店内で「サイエンスカフェ」特別メニューから1品以上飲食物をご注文下さい。  
途中入場・退席 OK です。



仕事や学校帰りの夕暮れ、中心街のコーヒー店で  
科学者とひざを交えて科学談義しませんか？

今回のキーワードは地元八戸と震災です。

3人の研究者が話題提供してくれます。

心行くまで、語り合しましょう。

## 第1回 10月22日(土)

### 青森県内からの メガロドン上科二枚貝の発見とジオパーク構想

話題提供者：杉沢典孝さん(下北の地学を研究し続けている：むつ科学技術館 元館長)

下北の地質については、子供たちに地学の楽しさを知ってもらう目的で、中学生の目線で調査研究を実施してきています。退職後、メガロドンの研究は、少しだけ専門的な研究を進めているところです。



はっちのメガロドンを含む岩石



尻屋のメガロドン化石



## 第2回 11月5日(土)

### 八戸周辺の海岸植生は 大津波によりどうなったか？

話題提供者：鮎川恵理さん(両極地で研究をした数少ない女性研究者：八戸工業大学講師)

演者は偶然にも平成 22 年の夏に八戸市から久慈市北部までの海岸植生調査を行っていました。その調査により 30 種以上の植物の分布に関するデータが集まりましたが、平成 23 年 3 月 11 日の大津波により調査地のほとんどは冠水しました。いま、調査地の植物はどうなっているのか、この先どうなっていくのか、今夏のデータをもとにお話しします。



## 第3回 11月19日(土)

### フェロモン・コミュニケーション型 ロボット群の研究

話題提供者：藤澤隆介さん(未来科学館に自作ロボット展示：八戸工業大学助教)

蟻、白蟻などの社会性昆虫は、化学物質をコミュニケーション媒体として用いて高度な社会構造を構築していることが知られている。一方、ロボットでは主に無線や光を使った通信手法を用いている。フェロモン・コミュニケーションには、可塑・化学・局所・間接的な特徴があり多個体間通信に適しているといえる。本研究では、蟻や白蟻が行うフェロモン・コミュニケーションをロボットに取り入れて研究を進めている。



- 主催：科学であそび隊
  - 協力：香彩珈琲みな実、八戸市児童科学館
- 連絡先お問い合わせ：090-2609-1693(宮崎)

このイベント(活動)は、独立行政法人科学技術振興機構の平成 23 年度科学コミュニケーション連携推進事業草の根型プログラムの支援に申請中です。